

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	地域ぐるみで働き方を見直す体制の推進						掲載ページ		
							32		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	総務企画局
		13,064 「ワーク・ライフ・バランス推進事業」費総額。本事業はその一部	千円	14,346 「ワーク・ライフ・バランス推進事業」費総額。本事業はその一部	千円	施策名	働き方を見直し	担当課	女性活躍推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、市民や企業等に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行い、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現していきます。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催し、広報啓発や、父子ふれあい体験の実施などによる個人（家庭）に対する働きかけを行います。また、ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施など広報啓発事業を行います。		

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	活動指標	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催 企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」にて本市におけるワーク・ライフ・バランスの推進施策について協議することが地域ぐるみで働き方を見直す体制の推進につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）－	4 回	3 回	3 回 100.0 %	大変順調
ワーク・ライフ・バランス新聞配付数 保育所、幼稚園、市立小・中・特別支援学校のすべての保護者に「ワーク・ライフ・バランス新聞」を配付することが、ワーク・ライフ・バランスを実践するための広報啓発の手段の一つになると考え活動指標としました。 （最終目標と最終年度）－		110,290 枚	前年度比同程度	114,720 枚 104.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、企業向け講演会や「ワーク・ライフ・バランス新聞」の市内事業所への配付、街頭啓発を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。街頭啓発については、これまでのJR小倉駅に加えて、市内のショッピングモールでも実施して、より多くの方々にPRしたこと、ワーク・ライフ・バランスに取り組むためのきっかけとしてもらうため、企業のニーズ等に応じたテーマで、直接講師を派遣する出前セミナーを実施したこと、順調としました。一方、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は27.4%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業、働く人、市民、行政が連携・協働して取り組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人（家庭）、企業等に直接働きかけています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、様々な企業・団体等と一層連携を深め、より多くの企業等や働く人に直接働きかけていくことで「実践」を通じた成果実現につなげていきます。